

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年6月30日

【事業年度】 第61期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

【会社名】 株式会社 筑波ゴルフコース

【英訳名】 TSUKUBA GOLF COURSE CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 篠原 督夫

【本店の所在の場所】 茨城県つくばみらい市高岡830番地の2

【電話番号】 0297(58)1515

【事務連絡者氏名】 総務部 谷田川 公洋

【最寄りの連絡場所】 茨城県つくばみらい市高岡830番地の2

【電話番号】 0297(58)1515

【事務連絡者氏名】 総務部 谷田川 公洋

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第57期	第58期	第59期	第60期	第61期
決算年月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月
売上高 (千円)	717,163	737,013	772,082	753,453	726,619
経常利益 (千円)	59,273	85,725	94,571	57,862	45,549
当期純利益 (千円)	51,973	93,447	94,467	30,082	28,957
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)					
資本金 (千円)	180,300	180,300	180,300	180,300	180,300
発行済株式総数 (株)	3,606	3,606	3,606	3,606	3,606
純資産額 (千円)	1,369,274	1,456,164	1,567,254	1,578,155	1,600,590
総資産額 (千円)	1,628,976	1,704,127	1,854,589	1,804,567	1,842,120
1株当たり純資産額 (円)	379,721	403,817	434,624	437,647	443,868
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額) (円)	( )	( )	( )	( )	( )
1株当たり当期純利益 (円)	14,413	25,914	26,197	8,342	8,030
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)					
自己資本比率 (%)	84.0	85.4	84.5	87.4	86.8
自己資本利益率 (%)	3.9	6.6	6.2	1.9	1.8
株価収益率 (倍)					
配当性向 (%)					
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	101,134	117,877	140,315	10,156	104,854
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	184,941	13,416	20,176	89,001	56,466
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,798	3,798	3,798	3,798	739
現金及び現金同等物 の期末残高 (千円)	178,138	278,800	395,140	312,496	360,145
従業員数 (名)	54 (41)	57 (43)	63 (41)	63 (40)	63 (42)

(注) 1 当社は、連結財務諸表を作成しておりませんので、「最近5連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移」については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、持分法適用会社がないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員であります。

6 当社は非上場・非登録のため株価収益率は記載しておりません。

## 2 【沿革】

- 昭和33年5月 東京都中央区八重洲1丁目2番地の4に株式会社筑波ゴルフコースを設立(資本金5千万円)  
昭和33年9月 ゴルフコース造成に着工  
昭和34年9月 ゴルフコース完成、営業開始  
昭和39年7月 本社を「東京都中央区銀座東1丁目2番地」に移転  
昭和59年5月 クラブハウス改築  
昭和60年6月 本社を「茨城県筑波郡伊奈町高岡830番地の2」(ゴルフコース内)に移転  
(注) 平成18年3月27日に筑波郡伊奈町と筑波郡谷和原村は合併して「つくばみらい市」となっております。

## 3 【事業の内容】

当社は、単一セグメントであり、ゴルフ場の経営、軽飲食業、食品雑貨品類の販売、各種競技用品の販売、煙草小売業、その他の附帯事業を営んでおります。

## 4 【関係会社の状況】

当社は、関係会社(親会社、子会社及び関連会社等)を有しておりません。

## 5 【従業員の状況】

(1) 従業員数、平均年齢、平均勤続年数及び平均年間給与

(平成29年3月31日現在)

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
63 (42)	38.0	10.8	3,257,246

- (注) 1 従業員は就業人員であり、臨時雇用者数は、年間の平均人員を( )外数で記載しております。  
2 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。  
3 当社は、単一セグメントであるため、セグメント別の従業員数は記載しておりません。

(2) 労働組合の状況

労働組合は、結成されておりません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【業績等の概要】

#### (1) 業績

当事業年度の日本経済は、企業業績が堅調に推移し、雇用や所得環境が改善する中、穏やかな回復基調が続きましたが、米国新政権の政策の不透明感、欧州における政治リスク、2017年年初からの為替市場の調整局面入り等により、先行きに不透明感を残す展開となりました。

ゴルフ業界におきましては、ゴルフ競技のリオデジャネイロ五輪での復活を機に、2020年東京五輪に向けてゴルフへの関心の高まりが期待されるのですが、ゴルフ人口の減少や価格競争激化により厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下、当社では、良好なコースコンディションの維持やサービスの提供に取り組むと共に、コース内避難小屋の新築、男子浴室並びに高圧電力引込線の全面改修などの諸施設の改善により、ご来場の皆様がより安全・快適なプレーを楽しむことができるよう取り組んで参りました。

当期の来場者数は昨年度に比べ1,622名減少の41,391名(前期比マイナス3.8%)となりました。来場者数の内訳は、メンバー19,542名(前期比79名減少、マイナス0.4%)、ゲスト21,849名(前期比1,543名減少、マイナス6.6%)となりました。

当期の営業成績は、売上高は726,619千円(前期比26,833千円減少、マイナス3.6%)となりました。営業費用(売上原価、販売費及び一般管理費)は767,859千円(前期比15,753千円減少、マイナス2.0%)となりました。この結果、営業損失は41,240千円(前期は30,159千円の損失)となりました。

また、営業外損益は会員登録手数料や投資有価証券の受取配当金等の収益86,789千円(前期比1,297千円の減少、マイナス1.5%)を計上した結果、経常利益は45,549千円(前期比12,312千円の減少、マイナス21.3%)となりました。税引前当期純利益は45,549千円、法人税・住民税及び事業税、法人税等調整額を差引いた当期純利益は28,957千円(前期比1,124千円の減少、マイナス3.7%)となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前事業年度末に比べ47,648千円増加し360,145千円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は104,854千円(前期は10,156千円の増加)となりました。主な増加要因は、税引前当期純利益45,549千円、減価償却費48,358千円、未払消費税等11,657千円の増加によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は56,466千円(前期は89,001千円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出71,646千円、投資有価証券の償還による収入16,880千円によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は739千円(前期は3,798千円の減少)となりました。これはファイナンス・リース債務の返済による支出292千円、設備関係割賦債務の返済による支出446千円によるものです。

## 2 【生産、受注及び販売の状況】

## (1) 生産実績

該当事項はありません。

## (2) 受注実績

該当事項はありません。

## (3) 販売実績

当事業年度の販売実績を売上区分別に示すと、次のとおりであります。

売上区分別	当事業年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)	
	金額(千円)	前期比(%)
メンバーフィー	8,535	0.7
ゲストフィー	197,818	6.0
キャディーフィー	148,847	4.1
食堂	106,736	1.2
売店	22,567	3.2
ロッカー料	7,730	0.2
年会費	98,376	±0.0
施設使用料	115,494	3.6
その他	20,512	6.4
計	726,619	3.6

(注) 1 販売実績は、消費税等を含んでおりません。

2 総販売実績に対し10%以上に該当する販売先はありません。

### 3 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

文中の将来に関する事項は、当事業年度末現在において、当社が判断したものであります。

当社は、安定した経営を継続することを基本とし、コース及び諸施設の維持・改善に向けた適切な投資を実施し、魅力あるゴルフクラブの運営を行うことを目指しております。

当社が属するゴルフ場業界は、ゴルフ人口の減少に伴い価格競争が厳しさを増しております。その中で会員制ゴルフクラブとしての魅力を維持・向上させることにより来場者数を確保することで売上高を確保する必要があります。このため、コース及び諸施設の維持・改善に向けた設備投資を適宜実施すると共に、キャディはもとより従業員の教育・研修を通じて、お客様へのサービス向上を目指して行かなければなりません。

### 4 【事業等のリスク】

当社の経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のある事項には以下のようなものがあります。なお、文中における将来に関する事項は当該有価証券報告書提出日（平成29年6月30日）現在において判断したものであります。

#### 1. 経済環境について

当社の属するゴルフ場業界は景気動向に左右されやすく、ゴルフ場間の低価格化競争が激化するおそれがあります。

当社は、クラブ会員を初めとしてご来場者の皆様方により満足を頂くことを最優先課題として低価格化ゴルフ場と差別化する方針で経営に当たっておりますが、利用料の低価格化競争の激化が当社の業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

#### 2. 季節的変動について

ゴルフ場の売上は、入場者数により変動します。当社の入場者数は、天候の影響も受け、春（3月～5月）及び秋（9月～11月）がピークとなり、夏（7月～8月）及び冬（1月～2月）は入場者数は総じて減少します。特に冬は積雪によりゴルフ場がクローズすることもあり売上は不安定となります。このような天候の変動が当社の業績及び財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

#### 3. 配当政策について

当社は、株主会員を主たるメンバーとする会員制ゴルフ場であり、株主の皆様方の要望に応えるべく必要な投資資金をコース作りやコース及び施設の維持管理に当てるため、利益は内部留保とし、配当を行わないこととしております。

## 5 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

## 6 【研究開発活動】

該当事項はありません。

## 7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 財政状態の分析

#### (資産)

資産合計は、1,842,120千円（前事業年度比37,553千円増）となりました。

流動資産の増加（前事業年度比43,765千円増）は、現金預金47,648千円の増加が主な要因であります。

固定資産の減少（前事業年度比6,211千円減）は、有形固定資産15,597千円の増加と、投資有価証券24,100千円減少が主な要因であります。

#### (負債)

負債合計は、241,530千円（前事業年度比15,118千円増）となりました。

流動負債の増加（前事業年度比17,412千円増）は、未払法人税等13,957千円及び未払消費税等11,657千円等の増加が主な要因であります。

固定負債の減少（前事業年度比2,294千円減）は、退職給付引当金2,794千円の減少によるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は、1,600,590千円（前事業年度比22,434千円増）となりました。

純資産の増加要因は、当期純利益28,957千円の計上、その他有価証券評価差額金6,552千円の減少によるものであります。

### (2) 経営成績及びキャッシュ・フローの分析

「1 業績等の概要」「(1)業績」及び「(2)キャッシュ・フローの状況」を参照。

### 第3 【設備の状況】

#### 1 【設備投資等の概要】

当期は、コース管理関係では乗用アプローチスイーパー1台、乗用3連ティモア1台等を購入しております。

施設関係では、コース内避難小屋2棟の建替えや、クラブハウス前駐車場工事、高圧線引込工事、男子浴室改修工事等を実施しました。

また、キャディーカート5台購入、経理ソフトの更新をしております。

この結果、設備投資全体としては合計65,419千円の投資となりました。

なお、当期中に重要な設備の売却、撤去等はありません。

#### 2 【主要な設備の状況】

平成29年3月31日現在

事業所名 (所在地)	帳簿価額(千円)						従業員数 (名)	
	土地		建物	構築物	コース勘定	その他		合計
	面積㎡	金額						
本社・ゴルフ場 (茨城県 つくばみらい市)	700,820 (2,719)	492,654	220,856	178,632	400,372	19,589	1,312,105	63 (42)

(注) (イ) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(ロ) 投下資本額は、有形固定資産の帳簿価額であります。

(ハ) その他の固定資産は、機械及び装置(3,841千円)、車両運搬具(9,114千円)、工具、器具及び備品(6,633千円)であります。

(ニ) 土地面積欄の( )内は、借用中のものを示した外数であります。

(ホ) 従業員数欄の( )内は、臨時従業員の年間平均雇用人員を示した外数であります。

#### 3 【設備の新設、除却等の計画】

該当事項はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000
計	6,000

##### 【発行済株式】

種類	事業年度末現在 発行数(株) (平成29年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年6月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,606	3,606	非上場	単元株制度を採用しておりま せん。
計	3,606	3,606		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
昭和57年10月21日	132	3,606	6,600	180,300	653,400	833,700

(注) 有償第三者割当

発行価格

1株につき5,000千円

資本組入額

1株につき50千円

## (6) 【所有者別状況】

平成29年3月31日現在

区分	株式の状況								単元未満株式 の状況 (株)
	政府及び 地方公共 団体	金融機関	金融商品 取引業者	その他の 法人	外国法人等		個人 その他	計	
					個人以外	個人			
株主数 (人)		4	11	241		25	763	1,044	
所有株式数 (株)		12	363	861		75	2,295	3,606	
所有株式数 の割合(%)		0.33	10.07	23.88		2.08	63.64	100.00	

## (7) 【大株主の状況】

平成29年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社大和証券グループ本社	東京都千代田区丸の内1-9-1	234	6.49
三菱UFJニコス株式会社	" 文京区本郷3-33-5	39	1.08
大和証券投資信託委託株式会社	" 千代田区丸の内1-9-1	39	1.08
日本郵船株式会社	" 千代田区丸の内2-3-2	24	0.67
北陸電力株式会社	富山県富山市牛島町15-1	15	0.42
東京短資株式会社	東京都中央区日本橋室町4-4-10	12	0.33
株式会社東京証券取引所	" 中央区日本橋兜町2-1	12	0.33
太平洋汽船株式会社	" 千代田区神田駿河台4-2-5	12	0.33
共栄火災海上保険株式会社	" 港区新橋1-18-6	12	0.33
阪和興業株式会社	" 中央区築地1-13-1	12	0.33
株式会社プランタン	" 台東区上野2-1-3	12	0.33
第一実業株式会社	" 千代田区神田駿河台4-6	12	0.33
計		435	12.06

## (8) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成29年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,606	3,606	
単元未満株式			
発行済株式総数	3,606		
総株主の議決権		3,606	

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## (9) 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 該当事項はありません。

## (1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

## (2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

## (3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

該当事項はありません。

## (4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

該当事項はありません。

## 3 【配当政策】

当社は、株主会員を主たるメンバーとする会員制ゴルフ場であり、株主の皆様方の要望に応えるべく必要な投資資金をコース作りやコース及び施設の維持管理に当てるため、利益は内部保留とし、配当を行わないこととしており、過去において配当を行ったことはありません。当期も、この方針を継続し、配当は行いません。

## 4 【株価の推移】

当社は、非上場につき該当事項はありません。

5 【役員の状況】

男性11名 女性0名 (役員のうち女性の比率0%)

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況	任期	所有株式数 (株)
代表取締役 社長		篠原 督夫	昭和30年9月17日生	平成13年4月 大和証券(株)投資銀行第1部担当 部長 19年4月 同社同社内部監査部担当部長 21年10月 同社盛岡支店長 23年10月 ㈱大和ネクスト銀行内部監査部 27年4月 当社総務部長 27年6月 当社代表取締役社長(現在)	(注)2	
取締役		鈴木 茂晴	昭和22年4月17日生	平成9年6月 大和証券(株)取締役 10年6月 同社常務取締役 11年4月 (株)大和証券グループ本社常務取 締役 12年3月 当社取締役(現在) 13年6月 (株)大和証券グループ本社専務取 締役兼執行役員 14年6月 大和証券エスエムピーシー(株)専 務取締役 15年6月 同社代表取締役専務取締役 16年6月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役社長(CEO)兼大和証 券(株)代表取締役社長 23年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 会長兼執行役兼大和証券(株)代表 取締役会長 29年4月 (株)大和証券グループ本社最高顧 問(現在)	(注)2	3
取締役		岩本 信之	昭和31年6月14日生	平成17年4月 (株)大和証券グループ本社執行役 (CFO) 18年6月 同社取締役兼執行役(CFO) 20年4月 同社取締役兼常務執行役(CFO) 20年6月 当社監査役 21年4月 同社取締役兼専務執行役(CFO) 23年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(COO兼CF O)兼大和証券キャピタル・マー ケッツ(株)代表取締役副社長 23年6月 当社取締役(現在) 24年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(COO兼CF O)兼大和証券(株)代表取締役副 社長 25年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(COO)兼大 和証券(株)代表取締役副社長 28年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼執行役副社長兼大和証券投資信託 委託(株)代表取締役社長 28年6月 (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼大和証券投資信託委託 (株)代表取締役社長(現在)	(注)2	

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況	任期	所有株式数 (株)
取締役		草 木 頼 幸	昭和33年 3月31日生	平成16年 5月 大和証券エスエムピーシー(株) (現大和証券㈱)執行役員 19年 4月 同社常務執行役員 21年 4月 大和証券㈱専務取締役 24年 4月 (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼大和証券(株)代表取締役 副社長 24年 6月 当社取締役(現在) 25年 6月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼執行役副社長兼大和証券(株)代 表取締役副社長 28年 4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼執行役副社長兼(株)大和総研 ホールディングス代表取締役社長 28年 6月 (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼(株)大和総研ホールディ ングス代表取締役社長(現在)	(注) 1	
取締役		早 川 芳 正	昭和18年 1月25日生	平成 5年 6月 サンデン(株)(現サンデンホール ディングス(株))取締役 8年 1月 同社常務取締役 9年 6月 同社専務取締役 13年 6月 同社代表取締役社長 19年 6月 同社取締役副会長 22年 6月 同社代表取締役副会長 26年 6月 当社取締役(現在) 28年 6月 サンデンホールディングス(株)相 談役(現在)	(注) 1	
取締役		鈴 木 陸 郎	昭和12年 8月10日生	昭和53年 3月 筑波カントリークラブ 競技委員会 委員 平成16年 6月 同クラブ競技委員会委員長 17年 6月 関東ゴルフ連盟(KGA)競技委員会委 員(規則部会シニアアドバイザー) 19年 6月 筑波カントリークラブ 理事 23年 6月 同クラブ 評議員(現在) 27年 6月 当社取締役(現在)	(注) 2	3
取締役		佐 藤 行 弘	昭和22年 3月12日生	平成13年 6月 三菱電機(株)取締役 15年 4月 同社常務取締役 15年 6月 同社取締役兼上席常務執行役 17年 4月 同社取締役兼専務執行役 19年 4月 同社取締役兼代表執行役・執行役副 社長 21年 4月 同社取締役 21年 6月 同社常任顧問 25年 6月 同社特別社友 26年 6月 (株)三菱UFJフィナンシャル・ グループ監査役 27年 7月 三菱電機(株)社友(現在) 27年 6月 (株)三菱UFJフィナンシャル・ グループ取締役(現在) 28年 6月 当社取締役(現在)	(注) 1	3

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況	任期	所有株式数 (株)
取締役		中 田 誠 司	昭和35年7月16日生	平成18年4月 大和証券エスエムピーシー(株) (現大和証券(株))執行役員 19年4月 (株)大和証券グループ本社執行役 21年4月 同社常務執行役 21年6月 同社取締役兼常務執行役 24年4月 大和証券(株)専務取締役 27年4月 (株)大和証券グループ本社専務執 行役兼大和証券(株)専務取締役 28年4月 (株)大和証券グループ本社代表執 行役副社長(CEO)兼大和証券 (株)代表取締役副社長 28年6月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(CEO)兼大 和証券(株)代表取締役副社長 28年6月 当社取締役(現在) 29年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役社長(CEO)兼大和 証券(株)代表取締役社長(現在)	(注)1	
取締役		西 尾 信 也	昭和32年6月5日生	平成17年4月 大和証券エスエムピーシー(株)執 行役員 18年4月 大和証券(株)執行役員 21年4月 大和証券エスエムピーシー(株)常 務執行役員 22年4月 大和証券キャピタル・マーケッツ (株)常務取締役 24年4月 大和証券(株)専務取締役 28年4月 (株)大和証券グループ本社執行役 副社長兼大和証券(株)代表取締役 副社長 28年6月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼執行役副社長兼大和証券(株)代 表取締役副社長 29年4月 (株)大和証券グループ本社取締役 兼代表執行役副社長(CEO)兼大 和証券(株)代表取締役副社長(現 在) 29年6月 当社取締役(現在)	(注)2	

役名	職名	氏名	生年月日	略歴及び他の会社の代表状況	任期	所有株式数 (株)
監査役		松井敏浩	昭和37年4月27日生	平成21年4月 (株)大和証券グループ本社執行役 23年4月 (株)大和証券グループ本社常務執行役兼大和証券(株)執行役員 23年6月 当社監査役(現在) 24年4月 (株)大和証券グループ本社常務執行役兼大和証券(株)常務執行役員 26年4月 (株)大和証券グループ本社専務執行役兼大和証券(株)専務取締役 28年6月 (株)大和証券グループ本社取締役兼専務執行役兼大和証券(株)専務取締役(現在)	(注)3	
監査役		小松幹太	昭和37年10月12日生	平成20年10月 大和証券エスエムビーシーヨーロッパパリテッド社長 22年4月 大和証券キャピタル・マーケット(株)執行役員 23年4月 (株)大和証券グループ本社執行役員兼大和証券(株)執行役員 25年4月 (株)大和証券グループ本社常務執行役(CFO)兼大和証券(株)常務執行役員 28年4月 (株)大和証券グループ本社専務執行役(CFO)兼大和証券(株)専務取締役 28年6月 (株)大和証券グループ本社取締役兼専務執行役(CFO)兼大和証券(株)専務取締役(現在) 29年6月 当社監査役(現在)	(注)4	
計						9

- (注) 1 取締役の任期は平成28年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成30年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 2 取締役の任期は平成29年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成31年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 3 監査役の任期は平成27年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成31年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。
- 4 監査役の任期は平成29年3月期に係る定時株主総会終結の時から平成33年3月期に係る定時株主総会終結の時までであります。

## 6 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

### (1) 【コーポレート・ガバナンスの状況】

#### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主を主たるメンバーとする会員制ゴルフ場であり、株主の皆様方はじめ来場者がより高い満足を得ることを目指して役職員結束して経営にあたるのがコーポレート・ガバナンスの課題と考えております。

#### コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況

##### イ 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織

当社の取締役及び監査役は、当社設立の時の出資等の関係から、株式会社大和証券グループ本社グループを中心に選任されております。常勤取締役1名が業務執行にあっております。監査役2名は社外監査役であります。当社は、監査役制度採用会社であります。会社法上の大会社には該当せず、監査役会は設置していません。なお、社外監査役と当社との間に取引等の利害関係はありません。取締役会は、原則3ヶ月に1回開催し、当社の業務執行を決定し、取締役の職務の執行を監督しております。

##### ロ 会計監査の状況

当社は、金融商品取引法上の監査のため、有限責任監査法人トーマツと監査契約を締結しておりますが、同監査法人及び当社の監査業務に従事する同監査法人の業務執行社員と当社との間には特別の利害関係は無く、同監査法人からは、独立監査人としての公正・不偏な立場から監査を受けております。

当期において業務を執行した公認会計士の氏名、監査業務に係る補助者の構成については以下のとおりです。

- ・ 業務を執行した公認会計士の氏名

指定有限責任社員 業務執行社員：山本 千鶴子

- ・ 監査業務に係る補助者の構成：公認会計士2名、その他1名

## 八 役員報酬の内容

### 取締役の年間報酬額

常勤取締役 7,700千円

(注)上記の金額には、当事業年度に繰り入れた役員退職慰労引当金を含んでおります。

## 二 取締役の定数

当社の取締役は20名以内とする旨定款で定めております。

## ホ 取締役の選任

当社の、取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の過半数をもって行い、選任決議は、累積投票によらないものとする旨定款で定めております。

## へ 株主総会の特別決議要件

当社は、株主総会の円滑な運営を目的として、会社法第309条第2項に定める株主総会の特別決議要件について、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の3分の2以上をもって行う旨を定款に定めております。

(2) 【監査報酬の内容等】

【監査公認会計士等に対する報酬の内容】

前事業年度		当事業年度	
監査証明業務に 基づく報酬(千円)	非監査業務に 基づく報酬(千円)	監査証明業務に 基づく報酬(千円)	非監査業務に 基づく報酬(千円)
5,200		5,550	

【その他重要な報酬の内容】

該当事項はありません。

【監査公認会計士等の提出会社に対する非監査業務の内容】

該当事項はありません。

【監査報酬の決定方針】

当社の監査公認会計士等に対する監査報酬の決定方針は、同業他社と比較検討し経営会議にて決定されております。

## 第5 【経理の状況】

### 1 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより監査を受けております。

### 3 連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

## 1 【財務諸表等】

## (1) 【財務諸表】

## 【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	312,496	360,145
売掛金	30,730	29,418
商品	2,608	3,097
原材料及び貯蔵品	7,980	8,356
未収還付法人税等	4,064	-
繰延税金資産	7,521	8,635
その他	354	89
貸倒引当金	730	950
流動資産合計	365,027	408,792
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,028,792	1,060,783
減価償却累計額	825,223	839,927
建物（純額）	203,568	220,856
構築物	756,750	778,697
減価償却累計額	578,359	600,064
構築物（純額）	178,390	178,632
機械及び装置	56,437	59,574
減価償却累計額	53,086	55,733
機械及び装置（純額）	3,350	3,841
車両運搬具	109,710	115,816
減価償却累計額	100,425	106,701
車両運搬具（純額）	9,284	9,114
工具、器具及び備品	142,269	142,808
減価償却累計額	133,486	136,175
工具、器具及び備品（純額）	8,782	6,633
コース勘定	400,372	400,372
土地	492,654	492,654
リース資産	3,100	3,100
減価償却累計額	2,996	3,099
リース資産（純額）	103	0
有形固定資産合計	1,296,507	1,312,105
無形固定資産		
ソフトウェア	116	1,755
リース資産	175	-
電話加入権	622	622
無形固定資産合計	914	2,378
投資その他の資産		
投資有価証券	111,640	87,540
その他	220	220
繰延税金資産	30,256	31,083
投資その他の資産合計	142,117	118,844
固定資産合計	1,439,540	1,433,328
資産合計	1,804,567	1,842,120

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,317	5,283
リース債務	292	-
未払金	22,877	16,158
未払費用	26,403	26,084
未払法人税等	2,609	16,566
未払消費税等	895	12,553
前受金	475	728
預り金	4,942	4,611
賞与引当金	18,440	17,680
流動負債合計	82,254	99,666
固定負債		
退職給付引当金	82,152	79,358
役員退職慰労引当金	375	875
会員預り金	61,630	61,630
固定負債合計	144,157	141,863
負債合計	226,412	241,530
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	180,300	180,300
資本剰余金		
資本準備金	833,700	833,700
資本剰余金合計	833,700	833,700
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	450,000	450,000
繰越利益剰余金	112,522	141,479
利益剰余金合計	562,522	591,479
株主資本合計	1,576,522	1,605,479
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,633	4,889
評価・換算差額等合計	1,633	4,889
純資産合計	1,578,155	1,600,590
負債純資産合計	1,804,567	1,842,120

## 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)	当事業年度 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日)
<b>売上高</b>		
入場料	218,998	206,354
キャディフィー	155,238	148,847
食堂売店売上	131,314	129,303
その他	247,901	242,114
売上高合計	753,453	726,619
<b>売上原価</b>		
食堂売店売上原価		
商品期首たな卸高	2,259	2,608
当期商品仕入高	15,582	15,451
食堂材料費	38,187	39,748
合計	56,029	57,807
商品期末たな卸高	2,608	3,097
食堂売店売上原価合計	53,421	54,710
<b>売上総利益</b>	700,032	671,909
<b>販売費及び一般管理費</b>		
貸倒引当金繰入額	160	220
コース管理費	50,383	49,430
キャディー人件費	114,082	108,736
給料及び手当	219,473	205,297
賞与引当金繰入額	18,440	17,680
退職給付費用	9,861	9,170
役員退職慰労引当金繰入額	975	500
福利厚生費	60,402	58,988
減価償却費	39,015	48,358
水道光熱費	21,367	18,728
租税公課	23,550	26,544
業務委託費	79,759	75,728
その他	92,721	93,765
販売費及び一般管理費合計	730,191	713,149
<b>営業損失( )</b>	30,159	41,240
<b>営業外収益</b>		
受取利息	94	11
会員登録手数料	63,640	76,650
受取配当金	22,000	7,120
その他	2,352	3,008
営業外収益合計	88,087	86,789
<b>営業外費用</b>		
雑損失	65	-
営業外費用合計	65	-
<b>経常利益</b>	57,862	45,549
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	1 7,351	-
税引前当期純利益	50,511	45,549
法人税、住民税及び事業税	12,283	17,834
法人税等調整額	8,145	1,242
法人税等合計	20,428	16,592
<b>当期純利益</b>	30,082	28,957

【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	180,300	833,700	833,700	450,000	82,439	532,439	1,546,439
当期変動額							
当期純利益					30,082	30,082	30,082
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計					30,082	30,082	30,082
当期末残高	180,300	833,700	833,700	450,000	112,522	562,522	1,576,522

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	20,814	20,814	1,567,254
当期変動額			
当期純利益			30,082
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	19,181	19,181	19,181
当期変動額合計	19,181	19,181	10,901
当期末残高	1,633	1,633	1,578,155

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	180,300	833,700	833,700	450,000	112,522	562,522	1,576,522
当期変動額							
当期純利益					28,957	28,957	28,957
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計					28,957	28,957	28,957
当期末残高	180,300	833,700	833,700	450,000	141,479	591,479	1,605,479

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,633	1,633	1,578,155
当期変動額			
当期純利益			28,957
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	6,522	6,522	6,522
当期変動額合計	6,522	6,522	22,434
当期末残高	4,889	4,889	1,600,590

## 【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前事業年度		当事業年度	
	(自	平成27年4月1日	(自	平成28年4月1日
	至	平成28年3月31日)	至	平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税引前当期純利益		50,511		45,549
減価償却費		39,015		48,358
貸倒引当金の増減額(は減少)		160		220
賞与引当金の増減額(は減少)		690		760
退職給付引当金の増減額(は減少)		965		2,794
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)		13,425		500
受取利息及び受取配当金		22,094		7,131
売上債権の増減額(は増加)		39		1,311
たな卸資産の増減額(は増加)		898		865
仕入債務の増減額(は減少)		98		33
未払金の増減額(は減少)		2,969		1,655
未払消費税等の増減額(は減少)		24,721		11,657
その他		931		2,828
小計		26,108		100,497
利息及び配当金の受取額		22,094		7,131
法人税等の支払額		38,046		6,838
法人税等の還付額		-		4,064
営業活動によるキャッシュ・フロー		10,156		104,854
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の払戻による収入		21,665		-
定期預金の預入による支出		1,803		-
有形固定資産の取得による支出		110,863		71,646
無形固定資産の取得による支出		-		1,700
投資有価証券の償還による収入		2,000		16,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		89,001		56,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
ファイナンス・リース債務の返済による支出		1,757		292
設備関係割賦債務の返済による支出		2,041		446
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,798		739
現金及び現金同等物の増減額(は減少)		82,643		47,648
現金及び現金同等物の期首残高		395,140		312,496
現金及び現金同等物の期末残高	1	312,496	1	360,145

【注記事項】

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

商品、原材料及び貯蔵品

最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 10年～50年

構築物 10年～30年

(2)無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3)リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えて、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して必要額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備えて、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

(3)退職給付引当金

従業員に対する退職給付に備えて、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき計上しております(簡便法)。

(4)役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上しております。

5. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

6. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税は、税抜方式によっております。

## (追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当事業年度から適用しております。

## (貸借対照表関係)

該当事項はありません。

## (損益計算書関係)

## 1 固定資産除却損の内容は次の通りです。

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
構築物	5,979千円	千円
建物	1,372千円	千円
計	7,351千円	千円

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	3,606			3,606

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	3,606			3,606

## (キャッシュ・フロー計算書関係)

## 1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
現金及び預金	312,496千円	360,145千円
現金及び現金同等物	312,496千円	360,145千円

## (リース取引関係)

## 1. ファイナンス・リース取引

## 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

## (a)有形固定資産

主として、ゴルフ場システムに係るパソコン機器(工具、器具及び備品)であります。

## (b)無形固定資産

主として、ゴルフ場システムに係るソフトウェアであります。

リース資産の減価償却の方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については預金・投資信託を中心に、効率的な方法によって資金運用を行っており、銀行借入等は行っておりません。投資有価証券については、半期ごとに時価の把握を行っております。

(2) 金融商品の内容及びリスク並びにリスク管理体制

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されています。当該リスクに関しては、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行っております。

投資有価証券である投資信託は、市場価格の変動リスクに晒されていますが、価格推移を日々確認しながら運用しております。

未払金は、そのほとんどが1ヵ月以内の支払期日であります。

会員預り金は、会員の求めに応じ返還されるものであります。

資金調達に係る流動性リスクについては、総務部が資金繰計画を作成するなどの方法により管理していません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません(注2参照)。

前事業年度(平成28年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	312,496	312,496	
(2)売掛金	30,730		
貸倒引当金(1)	730		
	30,000	30,000	
(3)投資有価証券			
その他有価証券	111,640	111,640	
資産計	454,137	454,137	
(1)未払金	22,877	22,877	
負債計	22,877	22,877	

(1)売掛金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

当事業年度(平成29年3月31日)

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	360,145	360,145	
(2)売掛金	29,418		
貸倒引当金(1)	950		
	28,468	28,468	
(3)投資有価証券			
その他有価証券	87,540	87,540	
資産計	476,153	476,153	
(1)未払金	16,158	16,158	
負債計	16,158	16,158	

(1)売掛金に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

(注1)金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、並びに(2)売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)投資有価証券

公表されている基準価額によっております。

負 債

(1)未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2)会員預り金(貸借対照表計上額61,630千円)は、据え置き期間は到来しているものの、償還実績がなく、また、いつ償還されるかが明らかでないことから、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記表には含めておりません。

(注3)金銭債権の決算日後の償還予定額

前事業年度(平成28年3月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	312,496			
売掛金	30,730			
合計	343,227			

当事業年度(平成29年3月31日)

(単位:千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	360,145			
売掛金	29,418			
合計	389,563			

(有価証券関係)

その他有価証券

前事業年度(平成28年3月31日)

(単位:千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの 投資信託	111,640	109,309	2,330
合計	111,640	109,309	2,330

当事業年度(平成29年3月31日)

(単位:千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの 投資信託	87,540	92,429	4,889
合計	87,540	92,429	4,889

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、積立型の確定給付制度を採用しております。

確定給付企業年金制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金又は年金を支給しております。なお、当社が有する確定給付企業年金制度及び退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	(千円)	
	前事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)	当事業年度 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日)
退職給付引当金の期首残高	83,118	82,152
退職給付費用	9,861	9,170
退職給付の支払額	8,020	9,152
制度への拠出額	2,806	2,812
退職給付引当金の期末残高	82,152	79,358

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	(千円)	
	前事業年度 (平成28年 3月31日)	当事業年度 (平成29年 3月31日)
積立型制度の退職給付債務	92,230	91,470
年金資産	10,077	12,111
	82,152	79,358
非積立型制度の退職給付債務		
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	82,152	79,358
退職給付引当金	82,152	79,358
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	82,152	79,358

(3) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用 前事業年度9,861千円 当事業年度9,170千円

3. 確定拠出制度

該当事項はありません。

## (税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
<b>繰延税金資産</b>		
(流動)		
賞与引当金	5,559千円	5,330千円
その他	2,182千円	3,591千円
小計	7,742千円	8,921千円
(固定)		
退職給付引当金	24,582千円	23,747千円
その他	6,371千円	7,336千円
小計	30,954千円	31,083千円
繰延税金資産小計	38,696千円	40,005千円
評価性引当額	220千円	286千円
繰延税金資産合計	38,476千円	39,718千円
<b>繰延税金負債</b>		
(固定)		
その他有価証券評価差額金	697千円	千円
繰延税金負債合計	697千円	千円
繰延税金資産負債の純額	37,778千円	39,718千円

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の主な項目別内訳

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
法定実効税率	32.2%	30.15%
(調整)		
住民税均等割	4.6%	5.1%
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.9%	1.1%
評価性引当額の増減	0.0%	0.1%
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	3.9%	0.0%
雇用者給与増加税額控除	1.5%	0.0%
その他	0.1%	0.1%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	40.4%	36.42%

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ゴルフ場の経営及びこれに付帯する事業を営む単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	入場料	キャディフィー	食堂売店売上	施設使用料	年会費	その他	合計
外部顧客への売上高	218,998	155,238	131,314	119,862	98,369	29,670	753,453

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

損益計算書の売上高は、すべて本邦の外部顧客への売上高のため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

貸借対照表の有形固定資産は、すべて本邦に所在している有形固定資産のため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	入場料	キャディフィー	食堂売店売上	施設使用料	年会費	その他	合計
外部顧客への売上高	206,354	148,847	129,303	115,494	98,376	28,243	726,619

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

損益計算書の売上高は、すべて本邦の外部顧客への売上高のため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

貸借対照表の有形固定資産は、すべて本邦に所在している有形固定資産のため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## 【関連当事者情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)		当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
1株当たり純資産額	437,647円	1株当たり純資産額	443,868円
1株当たり当期純利益金額	8,342円	1株当たり当期純利益金額	8,030円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

項目	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	1,578,155	1,600,590
普通株式に係る純資産額(千円)	1,578,155	1,600,590
普通株式の発行済株式数(株)	3,606	3,606
普通株式の自己株式数(株)		
1株当たりの純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	3,606	3,606

## 2 1株当たり当期純利益金額

項目	前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
当期純利益(千円)	30,082	28,957
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る当期純利益(千円)	30,082	28,957
期中平均株式数(株)	3,606	3,606

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 【附属明細表】

## 【有価証券明細表】

## 【その他】

銘 柄		投資口数(口)	貸借対照表計上額 (千円)
投資有価証券	その他有価証券	ダイワ米国リート・ファンド	200,000,000
		小 計	200,000,000
計		200,000,000	87,540

## 【有形固定資産等明細表】

資産の種類	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 償却累計額 又は償却累 計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引当期末 残高 (千円)
有形固定資産							
建物	1,028,792	31,990		1,060,783	839,927	14,703	220,856
構築物	756,750	21,947		778,697	600,064	21,704	178,632
機械及び装置	56,437	3,137		59,574	55,733	2,646	3,841
車両運搬具	109,710	6,105		115,816	106,701	6,275	9,114
工具、器具及び備品	142,269	539		142,808	136,175	2,688	6,633
コース勘定	400,372			400,372			400,372
土地	492,654			492,654			492,654
リース資産	3,100			3,100	3,099	103	0
有形固定資産計	2,990,087	63,719		3,053,807	1,741,701	48,121	1,312,105
無形固定資産							
ソフトウェア	162	1,700		1,862	106	60	1,755
リース資産	5,270			5,270	5,270	175	
電話加入権	622			622			622
無形固定資産計	6,055	1,700		7,755	5,376	236	2,378

(注) 1. 当期増加額のうち主なものは、次のとおりであります。

建物	避難小屋 2 棟立替え	4,000千円
	男子浴室改修工事	24,766千円
構築物	高圧線引込工事	9,886千円
	クラブハウス前駐車場工事	8,780千円
車両運搬具	乗用アプローチスーパー	4,300千円

## 【社債明細表】

該当事項はありません。

## 【借入金等明細表】

該当事項はありません。

## 【引当金明細表】

区分	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	730	220			950
賞与引当金	18,440	17,680	18,440		17,680
役員退職慰労引当金	375	500			875

## 【資産除去債務明細表】

該当事項はありません。

## (2) 【主な資産及び負債の内容】

## 流動資産

## (イ)現金及び預金

区分		金額(千円)
現金		2,244
預金の種類	普通預金	347,796
	定期預金	10,104
	小計	357,900
合計		360,145

## (ロ)売掛金

## 相手先別内訳

相手先	金額(千円)
三菱UFJニコス(株)	15,717
(株)ジェーシービー	10,323
利用者 (注)1	641
会員 (注)2	2,736
合計	29,418

(注) 1 プレイ未収入金

2 年会費未収入金

## 滞留及び回収状況

当期首残高 (千円)	当期発生高 (千円)	当期回収高 (千円)	当期末残高 (千円)	回収率(%)	平均滞留期間(日)
30,730	658,616	659,928	29,418	95.7	16.6

(注) 1 当期発生額には、消費税等が含まれております。

2 回収率、平均滞留期間の算出方法は次のとおりであります。

$$\text{回収率} = \frac{\text{当期回収額}}{\text{当期首残高} + \text{当期発生額}} \times 100$$

$$\text{平均滞留期間} = \frac{\text{当期首残高} + \text{当期末残高}}{2} \div \frac{\text{当期発生額}}{365}$$

(八)商品

品目	金額(千円)
ボール他売店品物	3,097

(二)原材料及び貯蔵品

区分	金額(千円)
原材料 食堂材料	1,258
小計	1,258
貯蔵品 コース管理薬品等	7,097
小計	7,097
合計	8,356

流動負債

(イ)買掛金

相手先	金額(千円)
ノダ	926
山長(株)	811
木村農園	583
オオシロミート	388
タキシマ精肉店	349
その他 (注)	2,223
合計	5,283

(注) (株)三和 他

(3) 【その他】

該当事項はありません。

## 第6 【提出会社の株式事務の概要】

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日
株券の種類	1株券、2株券、3株券、5株券
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	規定なし
株式の名義書換え	
取扱場所	茨城県つくばみらい市高岡830番地の2 株式会社 筑波ゴルフコース
株主名簿管理人	なし
取次所	なし
名義書換手数料	1,000,000円(3株)
新券交付手数料	100,000円
単元未満株式の買取り	
取扱場所	規定なし
株主名簿管理人	規定なし
取次所	規定なし
買取手数料	規定なし
公告掲載方法	官報
株主に対する特典	株主は当クラブ会員となり、優先的且つ安価に当ゴルフコースの利用が出来る。

## 第7 【提出会社の参考情報】

### 1 【提出会社の親会社等の情報】

当社は、親会社等はありません。

### 2 【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に次の書類を提出しております。

#### (1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度 第60期(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)平成28年6月30日関東財務局長に提出。

#### (2) 半期報告書

第61期中(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)平成28年12月27日関東財務局長に提出。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書

平成29年6月9日

株式会社 筑波ゴルフコース  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 山本 千鶴子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社筑波ゴルフコースの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第61期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

### 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社筑波ゴルフコースの平成29年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 1 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（有価証券報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは監査の対象には含まれていません。